



# kaerunomaru 新聞

特定非営利活動法人 エコ.エコ (ecology. economy)

No.1 2013.5.20

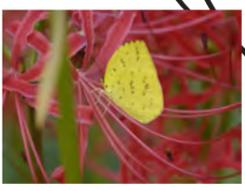
## 「エコ.エコ」設立趣旨書

エコ.エコとは、エコロジーとエコノミーの二つの頭文字からの命名です。自然を保護するには自然の仕組みについての知識、実践及び活動費が必要です。人は快適な生活を求めるあまり、自然に大きすぎる負荷をかけてきました。かつて人に手入れされ守られた森や林は放置されています。森から出る多くの落ち葉や木々 利用する道が閉ざされたままです。



日本型ビオトープとも言える田んぼも減少し、そこには絶滅の危機にある多種多様な生き物がひっそりと命を今ないでいます。かつての暮らしを復元することは難しいことです。だからこそ今、実際に人の手が入ることで守られる場所を復活し、生態系を守っていこうとする活動が必要です。

エコ.エコは多くの人に自然の仕組みを理解してもらうことを大きな柱として活動していきます。エコロジーとエコノミーを両輪として、新たな持続可能な活動システムを提案し、実践してまいります。継続的に事業を展開し、団体としての運営を確立するために特定非営利活動法人を設立しました。

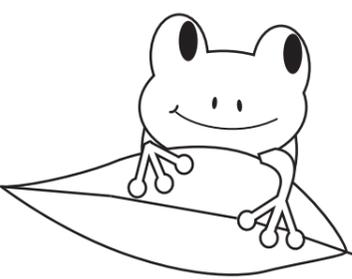


## 幸せのお手伝い 忘れてたくない日 MANNEN カレンダー

◇カレンダーを利用している方の感想◇



3月		弥生 (やよいい) 春分 (はるぶん)
1	16	80代女性・・・最近忘れっぽくて、孫やひ孫の誕生日を記録できてうれしいです。
2	17	70代男性・・・裏ページに書いてある自然の物語がおもしろくて、一気に読んでしまいました。
3	18	60代女性・・・娘の結婚記念日を記録して、孫を預かるから二人でデートして来なさいと娘夫婦に声を掛けて喜ばれました。
4	19	60代男性・・・日本は没後何年、何回忌など死んだ日を記録するが、今は亡き父の誕生日を記録したら、父の生きた時代を感じる事が出来た。生誕何年という考え方も必要だと思った。
5	20	50代女性・・・嫁ぐ娘に持たせませす。これからの日々の幸せを願って☑
6	21	50代男性・・・このカレンダーを手にして自分たちの結婚記念日に気がついた。
7	22	30代女性・・・子どもが初めて「ちょうちょう」と言った日を記録しました。
8	23	子どもが大きくなったとき、この日を懐かしく思うと思います。
9	24	
10	25	
11	26	
12	27	
13	28	
14	29	
15	30	
	31	



ご寄付の方には、ご希望で一度手に入れたら一生使えるオランダでは定番の「**忘れてたくない日mannenカレンダー**」をお送りします。裏ページでは私たち団体のイメージキャラクターのカエルの**マル**が物言わぬ植物や虫を案内してくれます。カエルがいるということは自然が豊かだという一つの指標です。**マル**をよろしく。

# エコ・エコの活動が始まりました。



kaerunomaru で検索

## ◇エコ・エコ半年間の活動の歩み 2012/10～2013/3◇

### 活動内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

忘れてくない日 mannen カレンダー制作	17人
NPO 法人認可	平成 23 年 12 月 28 日
湿地保全活動	10回 延べ人数 45人
湿地植生調査	4回 延べ人数 13人
水路の外来種抜き	8回 延べ人数 33人
カエルの産卵場所確保	1回 延べ人数 5人
不在地主森手入れ	1回 延べ人数 8人



現在活動している湿地はトラスト1号地の西側にあります。貴重な植物がひっそりと生息しています。保全にご協力ください。

### 湿地保全活動



長年、カエルの調査及び植生調査を地道に続けているメンバーの“在来のカエルの著しい減少”との問題提起を受け、2012年12月28日にNPOを設立しました。主な活動場所は、見沼にある貴重な動植物を保全し守る活動を行っています。

子どもの笑顔を増やす、調査等を通して生きものに聞く、放置林・耕作放棄地をよみがえらせるなど多くのテーマを抱えて活動しています。その元になるものが、多くの人に自然の仕組みを知ってもらうことです。

### 湿地植生調査



### コウヤワラビ



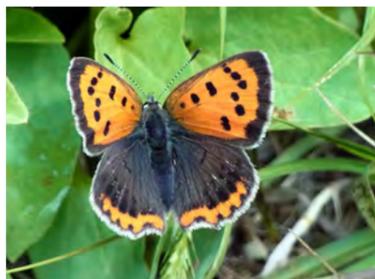
### ノウルシ群落



### 水路の外来種抜き



湿地にはセイタカアワダチソウなどの外来種があり日本原産の植物を圧迫しています。



ベニシジミ



アカガエル



ジョウビタキ

### ウエットランドで確認された動物の1例

この湿地には様々な動植物が生息しています。また、土壌も攪乱されることなく保存されています。この状態を長く保存していく必要があります。春は様々な花が咲き、夏はオオヨシキリの活動場所に、秋は赤い実が小鳥たちに提供され、冬は動物の越冬地に。

### カエルの産卵場所確保



### 星空観察会



### 環境講演会



### コウモリの観察会



### 今後の予定

虫ムシ探検	9月
見沼の植物観察	10月
クラフト展示	6月1日 から
さいたま市セキモト	

- A. 天文の専門家内田俊郎さんを講師に「星空の観察会」を実施しました。
- B. ドイツの環境教育の第一人者、塩瀬治さんを講師に「環境講演会」を実施しました。
- C. ほ乳類で唯一完全飛行の出来る「コウモリの観察会」を実施しました。講師大沢夕志さん。



### 連絡先

〒336-0923 さいたま市緑区大間木175-2 特定非営利活動法人 エコ・エコ  
 Email kaerunomaru@gmail.com (カエルノマル@ジーメール.コム)  
 ホームページ <http://members3.jcom.home.ne.jp/kaerunomaru/>

私たちの活動をサポートしてください。

- 会費
  - 正会員 : 1口 3,000円
  - 準会員 : 無料 (ただし保険代は個人でご負担いただきます)
  - 賛助会員 : 1口 10,000円
- ご寄付 : 1口 1,500円
- 募金 随時募集しています。エコ・エコの活動全体をご支援いただくものです。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。
- 郵便振替番号  
エコ・エコ 00110-0-711005

kaerunomaru で検索